



Kenko

ケンコー
デジタルカメラ
DSC830P

取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC830P」をお買い上げいただき、ありがとうございます。

ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管しておいてください。





Kenko

ケンコー
デジタルカメラ
DSC830P
取扱説明書

このたびはデジタルカメラ「DSC830P」をお買い上げいただき、
ありがとうございます。

ご使用の前には必ず取扱説明書をよくお読みいただき、安全に
正しくお使いください。また、取扱説明書は必ず大切に保管して
おいてください。



目次

はじめに	06
安全上のご注意	07
カメラの紹介	09
セット内容	09
各部の名称	10
ご使用の前に	12
充電池の装着	12
充電池の充電	13
リチウムイオン充電池に関する安全上の注意	14
SD / SDHCメモリカードを使用する場合	15
SD / SDHCメモリカードを装着する	15
SDメモリカードを使用する前に	16
ファイル名 / ディレクトリ名を変更しない	16
SDメモリカードのフォーマット	17
ストラップの装着	18
電源のオン / オフ	18
日付と時刻の設定	19
言語の設定	19
モードダイヤル	20
ボタン	21
LED表示	22
液晶モニタアイコン	23
静止画モード	26
静止画の撮影	26
手ぶれ補正機能	26
クイックビュー時のファイル削除について	27
撮影距離(焦点距離)	27
マクロ(近接)モード	27
フラッシュ撮影	28
ズーム撮影	28
セルフタイマー	29
連写撮影	29
AV(絞り優先)モード	30
Tv(シャッター速度優先)モード	31
AEB(オートブラケッティング)撮影	32
シーンモード	33
顔認識機能	34
笑顔検出機能	34
パノラマ撮影	35
静止画に音声メモを付加録音	36
動画モード	37
動画の撮影	37
音声モード	38
音声の録音	38
静止画メニュー	39
静止画メニュー	39
静止画サイズ	39
画質	40
フォーカスゾーン	40
露出補正	41
AEB	41
マルチ連写間隔	42
ホワイトバランス	42
ISO感度	43
測光方式	44
色効果	44
シャープネス	45
彩度	45
コントラスト	46
設定	46
動画メニュー	47
動画メニュー	47
動画サイズ	47
ホワイトバランス	48
色効果	48
彩度	48
コントラスト	49
設定	49
再生モード	50
再生モードアイコン	50
静止画の再生	52
動画の再生	52
音声ファイルの再生	53
音声メモの再生	53
再生ズーム	54
ファイルの削除	54
サムネイル表示	54
再生メニュー	55
DPOF	56
スライドショー	57
サイズの変更	58
静止画の回転	59
保護	60
赤目修正	61
カードへ移動	62
動画ファイルの短縮	63



目次

設定メニュー	64
設定メニュー.....	64
液晶輝度.....	64
ファイル番号.....	64
デジタルズーム.....	65
クイックビュー.....	65
連続AF.....	66
カメラサウンド.....	66
自動LCDオフ.....	67
自動電源オフ.....	67
テレビ出力.....	68
USBモード.....	68
日付プリント.....	69
日付と時刻の設定.....	69
言語の設定.....	69
ファイルの保存場所.....	70
フォーマット.....	70
リセット.....	70
音声メモ機能.....	71
バージョン情報.....	71
プリンタとの接続	72
PictBridge プリント.....	72
画像の保存場所.....	72
画像を選択.....	73
インデックスプリント.....	74
DPOF.....	75
全ての画像.....	76
テレビとの接続	77
テレビ画面での再生.....	77
パソコンとの接続	78
パソコンとの接続.....	78
付属アプリケーション	79
付属ソフトのインストール.....	79
Photo Impression.....	80
Video Impression.....	80
ユーザーマニュアル.....	80
Adobe Acrobat Reader.....	80
トラブルシューティング	81
記録可能枚数／時間の目安	82
静止画の記録可能枚数.....	82
動画の記録可能時間.....	82
仕様	83
製品仕様.....	83
必要システム.....	84
保証規定	85



はじめに

このたびは、デジタルカメラ「DSC830P」をお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用の前に、この取扱説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。

ご使用前にお読みください。

- 結婚式や旅行など大切な撮影の前には必ず事前にテスト撮影を行ってください。
- 著作権や肖像権などにお気をつけください。撮影を制限されている場所もありますのでお気をつけください。
また、プライバシーを侵害するような撮影は行わないでください。
- 本製品の故障およびその他の理由により生じた画像データの破損、消失による利益損失、損害などに関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品の使用および故障により生じた直接、間接の損害に関し、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本取扱説明書の図、写真、パソコンディスプレイの画面などは説明のために作成したものです。一部実際とは異なります。
- 本製品に付属しているソフトウェアを営利目的として無断でコピーしたり配布することは禁止されています。
- 本取扱説明書の内容の一部もしくは全部を無断で複写することは、個人で楽しまれる場合を除き禁止されています。
- 製品改良のため予告なく外観、仕様などを変更することがあります。
- 本取扱説明書に記載のシステム名、商品名および会社名は各社の商標または登録商標です。
- カメラを長時間使用するとカメラ本体が熱くなります。これは異常ではありません。



安全上のご注意 必ずお読みください。

本製品を安全にご使用いただくために、下記の項目をご使用前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

本製品を正しくご使用いただき、お使いになる人や他の人々への危害と財産への損害を未然に防止するために、次の絵表示で説明しています。

△危険	△警告	△注意
この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う切迫した危険の発生が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。	この指示に従わないで誤った取扱をすると、人が障害を負う可能性または、物的損害が生じる可能性が想定される内容です。

△危険

- 可燃性ガス、爆発性ガスなどが、大気中に存在する恐れのある場所での本製品の使用はおやめください。引火・爆発の原因となります。
- 本製品を分解したり、直接ハンダ付けするなどの加工および、火中投入などは行わないでください。発熱、発火、破裂の危険があります。
- 本製品を高温の場所(真夏の車内、窓辺、暖房器具のそばなど)で使用、保管しないでください。

△警告

- 本製品で太陽または強い光源を見ることは絶対にしないでください。失明など永久視力障害の原因となります。
- 目に深刻な損傷を与える恐れがありますので、近距離(1メートル以内)でフラッシュを発光させないでください。
- 本製品を歩行中、または運転中に絶対使用しないでください。交通事故の原因となります。
- 本製品を足場の悪い環境や、不安定な場所で使用しないでください。事故の原因となります。
- 本製品は防水構造ではありません。水をかけたり、濡らしたりしないでください。製品内部に水が入ると火災や感電、故障の原因となります。
- カメラに何らかの液体が入った場合、使用を中止してください。電源を切り、お近くの販売店にお問い合わせください。
- 感電の恐れがありますので、濡れた手でカメラを触らないでください。
- カメラの分解や改造は行わないでください。火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理は販売店もしくは当社までご依頼ください。
- 本製品を室外で使用中に落雷の恐れがある場合、すみやかに使用をやめてください。事故の原因になります。



安全上のご注意

必ずお読みください。

△ 警告

- 小さな付属品を飲み込む恐れがありますので、お子様やペットの手の届く範囲にカメラを放置しないでください。
- ケーブルやストラップが首に巻き付くと窒息の危険があります。お子様の手の届かないところに保管してください。
- ボリ袋(包装用)などを小さなお子様の手の届くところに置かないでください。口にあてて窒息の原因になることがあります。

△ 注意

- 本製品は精密な電子機器です。以下のような場所で使用したり放置すると火災や感電、故障の原因となることがありますので避けてください。
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火の近く
 - 湿ったところ
 - 振動の激しい場所
 - 温度・湿度の変化が激しい場所
- カメラを落としたりぶつけたりして強い振動や衝撃を与えないでください。
- レンズを直射日光に向けて撮影または放置しないでください。集光により内部の部品が破損し、火災などの原因となります。
- 電極部分などには一切触れないでください。感電や故障の原因になります。
- 本製品を保管するとき、上に重い物を載せないでください。故障の原因になります。
- 本製品に付属のケーブルを接続するとき、無理矢理入れたり外したりしないでください。故障の原因になります。
- 付属のCD-ROMはパソコン専用のソフトです。音楽用CDプレイヤーで再生することはしないでください。聴覚障害を引き起こす恐れがあります。
- ストラップを持って振り回さないでください。他人に当たり、けがや事故の原因となることがあります。

その他のご注意

- 電池は、一般に低温になるにしたがって一時的に性能が低下します。寒冷地で使用するときは、本製品を防寒具や衣服の内側に入れるなどして保温しながら使用してください。低温により性能が低下した電池は、常温に戻ると性能は回復します。
- 撮影条件、使用環境および電池により撮影枚数が減少する場合があります。
- 本製品のレンズや液晶モニタが汚れたとき、市販のクリーニング布で拭き取ってください。汚れたままですと、鮮明な写真を撮影することができません。

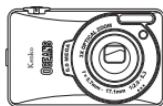


カメラの紹介

▣ セット内容

以下のセット内容が揃っているかご確認ください。

デジタルカメラ本体



USB-PC／TV接続ケーブル



ストラップ



リチウムイオン充電池



充電器



ACアダプタ



CD-ROM
(パソコン用のソフトウェア)



クイックスタートガイド



取扱説明書(本書)

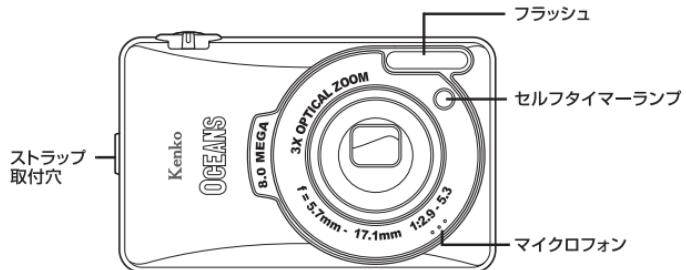




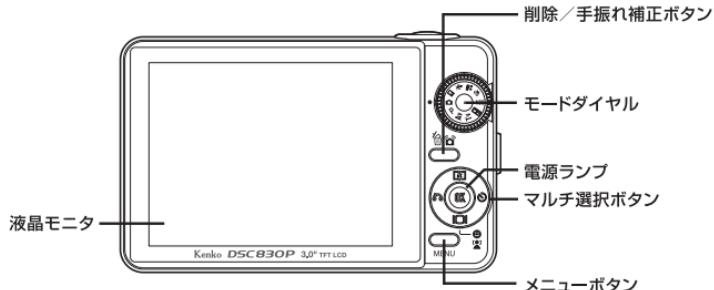
カメラの紹介

各部の名称

前面



背面



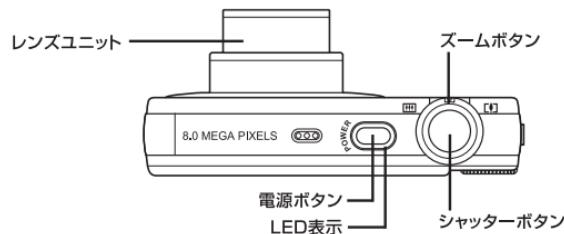
マルチ選択ボタン



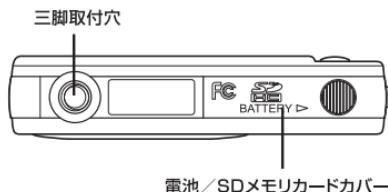


カメラの紹介

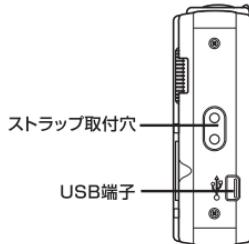
上面



底面



左側面



右側面





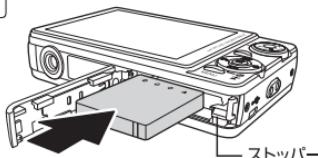
ご使用の前に

① 充電池の装着

1



2



3



1. 上図を参照して、電池／SDメモリカードカバーをスライドさせて開きます。
2. リチウムイオン充電池(NP-40)を正しい方向で装着します。
3. 電池／SDメモリカードカバーを閉めます。
4. 充電池を取り外す場合は、オレンジ色のストッパーをレンズ方向へ押してください。



- 電池をカメラ本体から着脱する場合は、必ず電源をオフにした状態で行ってください。
- リチウムイオン充電池は、完全に充電してからご使用ください。



◆電池残量については、液晶モニタ上のバッテリーアイコンに表示されます。

- 電池残量は充分です。
- 電池残量は半分程度です。
- 電池残量は残り僅かです。
- 電池残量はありません。再充電してください。

◆電池をカメラの中に入れたまま長期間カメラを使用しないと、電池が消耗します。カメラを長期間使用しないときは電池を取り出してください。

◆電池は、気温0°C以下または40°C以上では正常に動作しない場合があります。カメラを長時間使用すると電池およびカメラの本体が熱くなりますが、これは異常ではありません。



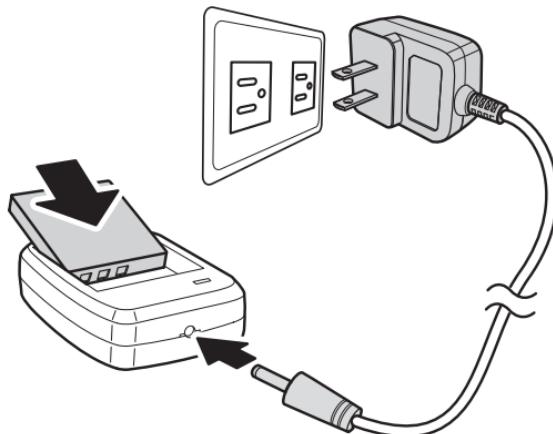
ご使用の前に

充電池の充電

下図のように充電器にリチウムイオン充電池を入れ、コードと充電器を接続し、コンセントに差し込みます。

充電器のLEDインジケータが点灯し、充電が行われます。

充電が完了するとLEDインジケータが緑色の点灯に変わります。





ご使用の前に

□ アルカリ乾電池に関する安全上の注意 (対象 : アルカリ乾電池使用カメラ)

⚠ 警 告 付属のアルカリ乾電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①ショート、分解、加熱、充電、(+)(-)の逆方向の装着をしないでください。使用済みの電池を火に入れるなどしないでください。
また、新しい乾電池と使用した乾電池を混用で使用しないでください。使い切った乾電池はすぐにカメラから取り出してください。
- ②カメラは電源が切れていても微弱電流が流れています。長期間(およそ1ヶ月以上)カメラを使用しない場合は、乾電池を取り外して保管してください。
- ③乾電池は乳幼児の手の届かない所に置き、乾電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。乾電池のアルカリ液がもれて、皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガなどの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診察・治療を受けてください。
- ④同梱品の乾電池はサンプルです。使用可能時間が一般的な乾電池に比べて短い場合があります。
- ⑤使用済みの乾電池は、お住まいの自治体が定めた方法で処分してください。

□ リチウムイオン充電池に関する安全上の注意 (対象 : リチウムイオン充電池使用カメラ)

⚠ 警 告 付属のリチウムイオン充電池をご使用の前に必ず、下記の安全上の注意をお読みください。

- ①初回使用時は、フル充電してください。付属の充電器(ACアダプタ)以外で充電しないでください。
- ②ショート、分解、加熱、(+)(-)の逆方向の装着はしないでください。
- ③液漏れ等の異常が発見された場合、ただちに使用を中止してカメラから取り外し、お買い上げ先等にお申し出ください。
電解液が皮膚や衣服に付着した場合は、失明やケガの恐れがありますので、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の診察・治療を受けてください。
- ④リサイクルのお願い



不要になった電池は貴重な資源を守るために廃棄しないで
充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。

〈最寄りのリサイクル協力店へ〉

詳細は、社団法人 電池工業会ホームページをご参照ください。
・ホームページ <http://www.baj.or.jp>

● 使用済み充電式電池の取扱注意事项

- プラス端子、マイナス端子をテープ等で絶縁してください。
- 皮覆をはがさないでください。
- 分解しないでください。



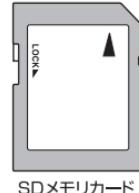
ご使用の前に

SD／SDHCメモリカード(別売)を使用する場合

本製品で撮影した画像は、通常カメラ本体の32MB内蔵メモリに記録されます。SDメモリカード(別売)をカメラ底面のSDメモリカードスロットに装着して撮影・録画すると、撮影・録画した画像は自動的にSDメモリカードに記録されます。



- このカメラに使用できるメモリカードの仕様は、SDメモリカード(32MB～2GB)、SDHCメモリカード(16GBまで)です。
その他の種類のカードを使用しますと製品及びカードが故障する可能性があります。
- すべてのSD／SDHCメモリカードで動作を保証するものではありません。



SD／SDHCメモリカードを装着する

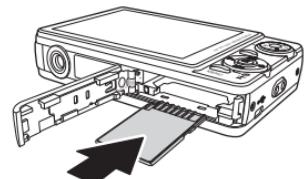
1. カメラの電源をオフにします。
2. 電池／SDメモリカードカバーをスライドさせて開きます。
3. 挿入する方向を確認してから、SDメモリカードをSDメモリカードスロットにカチッと音がするまで押し込みます。
(SDメモリカードを取り出すときも、カチッと音がするまで押し込んでから取り出します)
4. 電池／SDメモリカードカバーを閉めます。



- ◆新しいSDメモリカードを使用される際は、あらかじめメモリカードの初期化(P.17参照)をしてください。
- ◆差し込みににくい時は、挿入する方向が間違っている可能性があります。無理に挿入しないでください。



- SDメモリカードをカメラ本体から着脱する場合は、必ずカメラの電源をオフにした状態で行ってください。
- データをパソコンに転送している最中に、SDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。
撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。



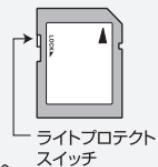


ご使用の前に

SDメモリカードを使用する前に



- ◆新品のSDメモリカードは使用前に本製品でフォーマット(初期化)してください。
- ◆SDメモリカードを装着すると、カメラはSDメモリカードを認識し、内蔵メモリを認識しません。
- ◆この他にも、取り扱いに関する注意事項がP.6~8に記載されていますので必ずよくお読みください。
- ◆下記の注意事項をよくお読みになり、正しい取り扱いを行ってください。
 - パソコンに接続、データ転送中や、撮影／再生中にSDメモリカードを引き抜かない
パソコンとカメラを接続し、撮影したデータをパソコンに転送している最中や、撮影中または再生中にSDメモリカードをカメラから引き抜かないでください。撮影した画像データ、SDメモリカードおよびカメラ本体が破損する恐れがあります。
 - SDメモリカードのフォーマット(初期化)はカメラで
本製品にはSDメモリカードをフォーマット(初期化)する機能がついています。
フォーマットは必ず本製品で行ってください。フォーマットすると既に記録されている画像データは全て消去されますのでご注意ください。
 - ライトプロテクトスイッチについて
SDメモリカードにはライトプロテクトスイッチ機能がついています。下にスライドすると、SDメモリカードはロックされ、SDメモリカードへの記録／消去が禁止され、保存されている画像などのデータが保護されます。記録／消去する場合はロックを解除してください。



ファイル名／ディレクトリ名を変更しない

パソコンでSDメモリカードに保存されている画像データのファイル名やディレクトリ名を変更したり、カメラで記録された画像データ以外のファイルを書き込まないでください。カメラで認識できなくなり、機能に障害がでる恐れがあります。



- SDメモリカードは精密機器ですので、無理な力を加えたり、乱暴に扱わないでください。また、SDメモリカードが静電気を帯びていると、うまく認識されなかったり、カメラの誤作動など障害が起こる恐れがあります。
- SDメモリカードを使用中、誤作動や故障により記録内容が失われることがあります。記録されたデータの破損、消失につきましては、故障や損害の内容および原因にかかわらず、当社では一切の責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
- SDメモリカードに異常があると思われる場合は、フォーマットすることで正常に動作する場合があります。その際は、本製品のフォーマット機能をお試しください。(フォーマットすると、記録されている画像データは全て消失されますので、あらかじめご了承の上、フォーマットを行ってください。必要に応じてデータをパソコンやCDにコピーしてからフォーマットしてください。)
- 電極部(金色の金属部分)が汚れてしまった場合は、乾いた清潔な布などで汚れを軽く拭き取ってください。



ご使用の前に

SDメモリカードのフォーマット

メモリをフォーマット(初期化)する機能です。



◆このカメラは、SDメモリカードまたは内蔵メモリを選択し、フォーマットします。



- SDメモリカードをこのカメラで使用する前には、必ずフォーマットを行ってください。
- フォーマットを行うとSDメモリカードに記録された全てのデータが消去され、初期化されますのでご注意ください。
- SDメモリカードのフォーマットは、必ず本製品のフォーマット機能で行ってください(パソコン上でフォーマットした場合、動作保証できません)。
- 保護設定を行ったファイルでも、フォーマットを実行すると消去されます。
- フォーマットする前に必要に応じてファイルをパソコンやCDにコピーしてください。
- SDメモリカードのライトプロテクトスイッチ(P.16参照)でロックしている場合、フォーマットは行われません。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源を入れます。
- 2.撮影モードに設定されていることを確認します。
- 3.メニュー ボタンを押します。
- 4.右または左ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押して設定メニューを表示します。
- 5.左または右ボタンを押して「フォーマット」を選択し、OKボタンを押して項目に入ります。
- 6.上または下ボタンで下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

メモリカード(初期設定)：メモリカードをフォーマットします。

内部メモリ：内蔵メモリをフォーマットします。

終了：フォーマットしません。



◆再生モードからメニュー ボタンを押しても「フォーマット」を選択できます。

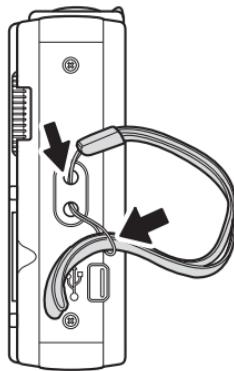




ご使用の前に

④ ストラップの装着

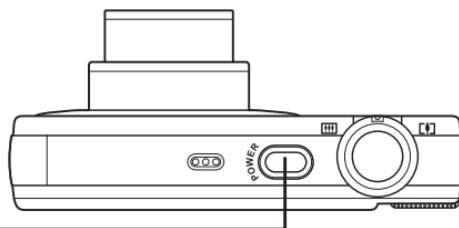
右図を参照して、ストラップを取り付けてください。



⑤ 電源のオン／オフ

電源ボタンを押すと、カメラの電源がオンになります。

再度電源ボタンを押すと、カメラの電源がオフになります。





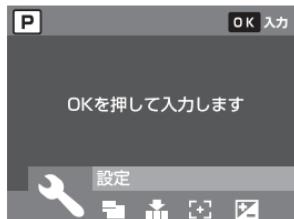
ご使用の前に

▣ 日付と時刻の設定

カメラをご使用前に、日付と時刻を設定します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源を入れます。
2. 撮影モードに設定されていることを確認します。
3. メニューボタンを押します。
4. 右または左ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押して設定メニューを表示します。
5. 左または右ボタンを押して「日時」選択し、OKボタンを押して項目に入ります。
6. 上または下ボタンで数値を調整し、左または右ボタンで項目を移動します。
7. OKボタンを押して確定します。
8. メニューボタンを2回押して、撮影モードに戻ります。

4.



6.



▣ 言語の設定 (初期設定：日本語)

カメラをご使用前に、使用する言語を設定します。

1. 電源ボタンを押して、カメラの電源を入れます。
2. 撮影モードに設定されていることを確認します。
3. メニューボタンを押します。
4. 右または左ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押して設定メニューを表示します。
5. 左または右ボタンを押して「言語」選択し、OKボタンを押して項目に入ります。
6. 上または下ボタンで使用する言語を設定し、OKボタンを押して確定します。
7. メニューボタンを2回押して、撮影モードに戻ります。

6.



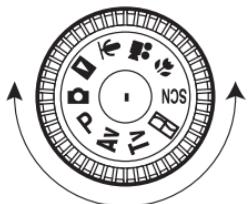
◆再生モードからメニューボタンを押しても「日時」、「言語」を選択できます。



ご使用の前に

モードダイヤル

モードダイヤルを回転させ、各モードを切り替えます。



モードの種類	アイコン	機能
オート(自動)モード	📷	撮影状況に応じて、自動的に設定を行います。
P(プログラム)モード	P	各種の手動設定が可能です。
Av(絞り優先)モード	Av	絞り優先の静止画モードにします。
Tv(シャッター速度優先)モード	Tv	シャッター速度優先の静止画モードにします。
パノラマモード	□□	パノラマ撮影モードにします。
シーンモード	SCN	シーンモードを選択します。
マクロ(近接)モード	✿	マクロ(近接)モードにします。
動画(ビデオ)モード	FILM	動画モードにします。
音声モード	MIC	音声モードにします。
再生モード	▶	再生モードにします。全ての静止画・動画・音声ファイルを再生することができます。



ご使用の前に

④ ボタン

アイコン	ボタンの名称	機能
	削除／手振れ補正ボタン	<ol style="list-style-type: none">静止画モード ・手振れ補正をオンにします。クイックレビュー使用時、静止画および動画ファイルを削除します。
MENU	メニュー ボタン	メニューを表示します。
OK	OK ボタン	メニュー使用時、選択項目を確定します。
	上／フラッシュボタン	<ol style="list-style-type: none">メニュー使用時、選択項目を上へ移動します。静止画モード ・フラッシュモードを切り替えます。(オート／発光禁止／強制発光／赤目軽減発光)
	右／撮影モードボタン	<ol style="list-style-type: none">メニュー使用時、選択項目を右へ移動します。静止画モード ・撮影モード(セルフタイマーモード・連写モード・マルチ連写モード)を選択します。
	下／スクリーンボタン	<ol style="list-style-type: none">メニュー使用時、選択項目を下へ移動します。静止画モード ・次の機能を切り替えます。 ヒストグラム表示+全アイコン表示・全アイコン表示・顔認識機能・笑顔認識機能・アイコン(モードアイコンを除く)非表示※再度押すとアイコンが表示されます。
	左／クイックレビュー ボタン	<ol style="list-style-type: none">メニュー使用時、選択項目を左へ移動します。再生モード ・前の画像を表示します。再生・音声以外のモード ・最後に撮影した画像を表示します。



ご使用の前に

▶ LED表示

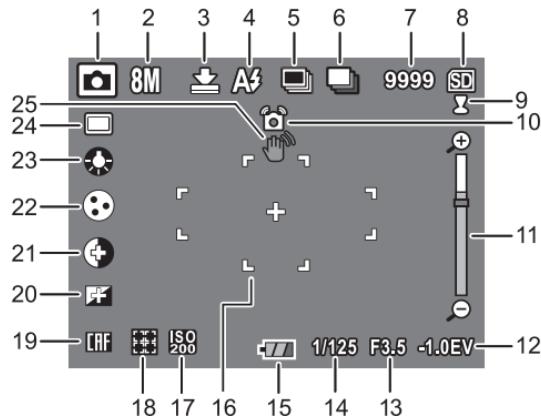
LED	LED の状態	カメラの状態
LED ランプ	オフ	電源が入っていません。
	青（点灯）	撮影準備が完了しています。
	青（点滅）	読み込み中です。
セルフタイマーランプ	オフ	セルフタイマーは設定されていません。
	赤（点灯）	動画の撮影中です。
	赤（ゆっくり点滅）	10 秒後にセルフタイマーが作動します。
	赤（はやく点滅）	2 秒後にセルフタイマーが作動します。



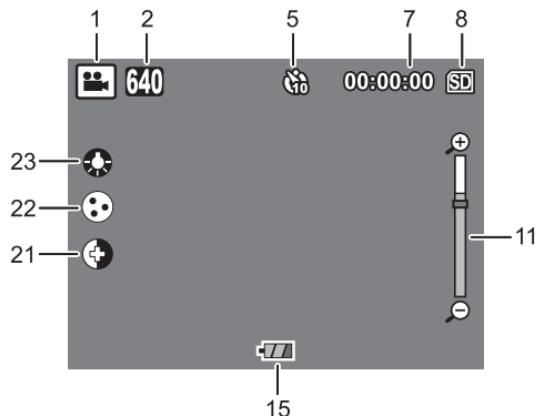
ご使用の前に

液晶モニタアイコン

〈 静止画モード 〉



〈 動画モード 〉



※設定により、表示されるアイコンは異なります。

●次ページへ続く



ご使用の前に

1	モードダイヤル	オートモード	
		P (プログラム) モード	
		Av (紋り優先) モード	
		Tv (シャッター速度優先) モード	
		パノラマモード	
	シーンモード	スポーツ	
		風景モード	
		夜景モード	
		人物モード	
		夜の人物モード	
		博物館	
		雪	
		日没	
		花火	
		ビーチ	
		パーティ	
		観葉植物	
		アクアリウム (水族館)	
		子どもとペット	
		コピー	
		バックライト (逆光)	
		マクロ (近接) モード	
		動画 (ビデオ) モード	
		音声モード	

1	モードダイヤル	再生モード	
2	サイズ	静止画モード	8M 7.1M 3:2 5M 3M 2.1M 16:9 2M VGA
		動画モード	640 × 480 320 × 240
3	画像品質	最高	
		良	
		普通	
4	フラッシュ	自動発光	
		強制発光	
		発光禁止	
		自動 + 赤目軽減発光	
5	セルフタイマー / 連写モード	マルチ連写モード	
		連写モード	
		セルフタイマー	2秒 10秒
6	AEB撮影	AEBモード	
7	カウンター	静止画モード	枚数 9999
		動画モード	タイマー 00:00:00



ご使用の前に

8	記録メディア	SD メモリカード	
		内蔵メモリ	
9	日付プリント		
10	手ぶれ補正		
11	ズームインジケータ		
12	EV 補正	-1.0EV	
13	絞り値	F3.5	
14	シャッター速度	1/125	
15	電池残量	電池残量は充分です。	
		電池残量は半分です。	
		電池残量は残り僅かです。	
		電池残量はありません。	
16	AF フレーム		
17	ISO 感度	自動	
		ISO80	
		ISO100	
		ISO200	
		ISO400	
		ISO800	
		ISO1600	
18	フォーカスゾーン	マルチゾーン	
		中心	

18	フォーカスゾーン	選択した領域	
19	連続 AF		
20	鮮明度（シャープネス）	高	
		中	
		低	
21	コントラスト	高	
		中	
		低	
22	彩度	高	
		中	
		低	
23	ホワイトバランス	自動	
		日光（太陽光）	
		電球（白熱灯）	
		蛍光灯	
		曇り	
24	測光方式	平均測光	
		マトリックス測光	
		スポット測光	
25	手ぶれ警告		

※設定により、表示されるアイコンは異なります。



静止画モード

▣ 静止画の撮影

静止画を撮影します。

- 電源ボタンを押して、カメラの電源をオンにします。
- モードダイヤルを回して Autoモード 等に設定します。
- 液晶モニタで被写体を捉え、必要に応じてズームを使用して構図を決め、シャッター ボタンを半押しします。
ピントと露出が自動的に調節され、撮影準備が完了するとAFフレームが緑色になります。
- カメラをしっかりと構え、シャッター ボタンを完全に押して撮影します。



- ◆シャッター ボタンを軽く押すと、途中で少し止まるところがあります。ここまで押すことを半押しと呼びます。
- ◆半押し状態の時、カメラが自動的にピントを合わせます。
- ◆シャッター速度が1/30秒以下の場合、 手ぶれ警告アイコンが表示されます。
カメラをしっかりと構えて、手ぶれにご注意ください。(三脚のご使用をお勧めします)



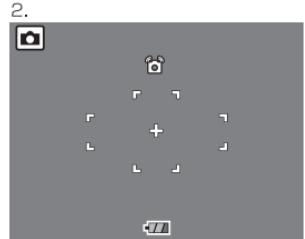
▣ 手ぶれ補正機能

撮影時の手ぶれを最小限に抑えます。

- Autoモード に設定されていることを確認します。
- 削除／手ぶれ補正ボタン(/)を押し、液晶モニタに手ぶれ補正アイコン が表示されていることを確認します。
手ぶれ補正アイコン の表示中は、手ぶれ補正機能が有効です。
- 手ぶれ補正機能を無効にする場合は、再度 削除／手ぶれ補正ボタン(/)を押してください。



- ◆手ぶれ補正機能は、Autoモード 以外では利用できません。
- ◆手ぶれ補正是電気(電子)式です。





静止画モード

▣ クイックビュー時のファイル削除について

クイックビュー表示中に削除／手ぶれ補正ボタンを押すと、撮影した画像を削除することができます。

1. 左／クイックビューボタン を押します。
2. 削除／手ぶれ補正ボタン (/) を押し、確認画面を表示します。
3. 「この画像」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。

この画像 : 表示されているファイルを削除します。

キャンセル : 削除しません。



- ◆ファイルの削除は、再生モードから行うこともできます。P. 54「ファイルの削除」をご覧ください。
- ◆この機能は静止画専用です。

▣ 撮影距離(焦点距離)

通常	約 0.5m～∞(Wide)、約 0.8m～∞(Tele)
マクロ(近接) モード	約 10cm～50cm(Wide)

▣ マクロ(近接)モード

マクロ(近接)モードを使用すると、文字や草花など、小さな被写体にもピントを合わせることができます。

1. モードダイヤルを回して マクロ(近接)モード に設定します。
2. 液晶モニタにマクロアイコン が表示されていることを確認し、正しい撮影範囲で撮影します。

撮影距離は、撮影距離(焦点距離)の表をご覧ください。



静止画モード

▣ フラッシュ撮影

フラッシュを設定します。フラッシュモードは撮影条件に応じて設定することができます。

1. 上／フラッシュボタン【4】を押して、フラッシュモードを切り替えます。

	自動発光	被写体周辺の光量が不足している場合、自動的にフラッシュが発光します。
	強制発光	どんな状況でもフラッシュが発光します。逆光などの撮影時におすすめします。
	発光禁止	どんな状況でもフラッシュが発光しません。博物館等フラッシュが禁止されている場所や、被写体までの距離が離れている場合におすすめします。
	自動＋赤目軽減発光	暗い場所などで撮影時に被写体の目が赤くなるのを最小限に抑えます。フラッシュは二度発光します。

▣ ズーム撮影

カメラには3倍光学ズームと5倍デジタルズームが搭載されています。

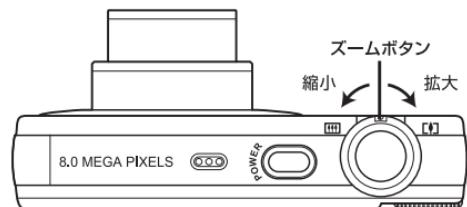
ズームボタンを右側【1】にスライドさせると、ズームイン(拡大)します。

ズームボタンを左側【2】にスライドさせると、ズームアウト(縮小)します。

〈デジタルズームについて〉

光学ズームの倍率が上限の3倍に達すると、ズームが停止します。一度ズームボタンから指を離し、再度ズームボタンを右側【1】にスライドさせると、デジタルズームします。ズームアウト(縮小)では、ズームボタンを左側【2】にスライドさせると、光学ズーム域まで戻ります。

初期設定では、デジタルズームが「オフ」になっています。デジタルズームを使用する際は、P.65「デジタルズーム」をご覧の上、「オン」に設定してください。



◆デジタルズームの倍率が大きくなると、撮影した画像の解像度は低下します。



静止画モード

④ セルフタイマー

セルフタイマーを設定することができます。

1. 右／セルフタイマーボタン を押し、10秒 または2秒 を選択します。
ボタンを押すごとに、下図のようにモードが切り替わります。



2. シャッターボタンを押して撮影します。



◆セルフタイマーは設定後の1枚のみに適用されます。

	10秒	シャッター <button>ボタン</button> を押してから、10秒後に撮影します。
	2秒	シャッター <button>ボタン</button> を押してから、2秒後に撮影します。

⑤ 連写撮影

連続写真を撮影することができます。

1. 右／セルフタイマーボタン を押し、連写 またはマルチ連写 を選択します。
ボタンを押すごとに、下図のようにモードが切り替わります。



	連写	シャッター <button>ボタン</button> を押し続けると、約1.5秒間隔で連写します。
	マルチ連写	シャッター <button>ボタン</button> を押すと、1秒間に画像サイズVGA(約30万画素)の静止画を連続16枚撮影します。P.52をご覧ください。



◆電源を切る、または撮影モードを変更するときリセットされます。
◆フラッシュの発光はできません。



静止画モード

■ Av(絞り優先)モード

任意の絞り値をセットすると、適正露出に合わせたシャッター速度が自動的に設定されます。

絞り値を小さく(開ける)すると、ピントの合う範囲が狭くなり、遠近感が強調されます。

絞り値を大きく(絞る)すると、ピントの合う範囲が広くなり、全体にピントが合った写真を撮ることができます。

1. モードダイヤルを回して、Avモードに設定します。
2. OKボタンを押して、選択メニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して、任意の絞り値を選択します。ズーム倍率によって、選択できる絞り値は異なります。
以下の項目より選択してください。

- F2.9 / F5.5
- F3.2 / F6.3
- F3.6 / F7.0
- F4.1 / F7.9
- F4.6 / F8.9
- F5.3 / F10.0

※選択できる絞り値は、撮影条件により異なります。

4. OKボタンを押して確定し、静止画撮影モードに戻ります。



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



静止画モード

■ Tv(シャッター速度優先)モード

任意のシャッター速度をセットすると、適正露出に合わせた絞り値が自動的に設定されます。

シャッター速度を速くすると、動いている被写体もブレずに撮影することができますが、全体に硬い雰囲気になります。

シャッター速度を遅くすると、動きを強調した表現を楽しむことができます。

1. モードダイヤルを回して Tvモードに設定します。
2. OKボタンを押して選択メニューを表示します。
3. 右または左ボタンを押して、任意のシャッター速度を選択します。以下の項目より選択してください。

- 2秒
- 1秒
- 1/2秒
- 1/4秒
- 1/8秒
- 1/15秒
- 1/30秒
- 1/60秒
- 1/125秒
- 1/250秒
- 1/500秒
- 1/1000秒
- 1/2000秒

※選択できるシャッター速度は、撮影条件により異なります。

4. OKボタンを押して確定し、静止画撮影モードに戻ります。



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



静止画モード

■ AEB(オートブラケッティング)撮影 (初期設定: オフ、間隔: ±0.3EV)

自動的に露出をずらして3枚の写真を撮影します。

例えば、露出補正値が0EV、露出ずらし値を±0.3EVに設定した場合、-0.3EV、0EV、+0.3EVの順に露出値を変えて撮影します。

1. オートモード・Pモード・Avモード・Tvモード・マクロモードのいずれかに設定されていることを確認します。

2. メニューボタンを押します。

3. 左または右ボタンを押して「AEB」を選択し、OKボタンを押します。

4. 上または下ボタンを押して下記の項目を選択します。

AEB : AEB機能のオン・オフを切り替えます。

間隔 : 露出ずらし値を±0.3EV～±2.0EV(0.3～0.4EVステップ)の間で設定します。

終了 : 設定の変更を適用し、設定メニューに戻ります。

5. シャッターボタンを押し続けて撮影します。

2.



◆AEB撮影は、オートモード・Pモード・Avモード・Tvモード・マクロモード以外のモードは利用できません。

◆AEB撮影は、フラッシュ・連写・マルチ連写は利用できません。

◆電源をオフにすると初期設定に戻ります。



静止画モード

④ シーンモード

シーンモードを使用して、撮影状況に合わせた設定を自動的に調整することができます。

- モードダイヤルを回してシーンモード **SCN** に設定し、シーンメニュー画面を表示します。
- 上／下／左／右ボタンを押して、シーンを選択します。
- OKボタンを押して確定します。

	スポーツ	動きの速い被写体の撮影に適しています。
	風景	撮影距離を無限に設定し、風景をくっきり鮮やかに撮影します。
	夜景	夜景のような暗い場面の撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
	人物	人物の撮影に適しています。
	夜の人物	夕方または夜景背景で人物の撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
	博物館	室内でフラッシュ発光ができない撮影に適しています。三脚等の使用をおすすめします。
	雪	暗い被写体と青味掛からない明白な雪景色などの撮影に適しています。
	日没	夕景の撮影に適しています。深い色味を演出します。
	花火	きれいに花火を撮影します。シャッター速度が遅くなりますので、三脚等の使用をおすすめします。
	ビーチ	明るい浜辺での撮影に適しています。
	パーティ	室内での撮影に適しています。
	観葉植物	緑色の植物の撮影に適しています。
	水族館（アクアリウム）	水族館での撮影に適しています。
	子どもとペット	かわいい子供・ペットなどの撮影に適しています。子供・ペットの目線で撮影してください。
	コピー	印刷物など、白黒のはっきりした被写体の撮影に適しています。
	逆光（バックライト）	逆光撮影での障害を低減します。

2.





静止画モード

④ 顔認識機能

顔認識 では、人の顔を検出し、自動的にピントを合わせます。

1. 下／スクリーンボタン 押して、顔認識機能 を有効にします。
2. 顔が検出されると、白いフレームが表示されます。
3. シャッターボタンを半押しすると、白いフレームが緑色に変わり、自動的にピントと露出を調整します。
4. シャッターボタンを完全に押して撮影します。
5. 顔認識機能を無効にする場合は、再度下／スクリーンボタン を押してください。



◆すべての状況で、顔認識機能の動作を保証するものではありません。

◆顔認識機能は、マクロ(近接)・パノラマ・スポーツ・風景・風景(夜間)・花火・コピー mode では利用できません。

2.



⑤ 笑顔検出機能

笑顔検出機能 では、笑顔が検出されると、自動的にシャッターが下ります。

1. 下／スクリーンボタン 押して、笑顔検出機能 を有効にします。
2. 顔認証されると、白いフレームが表示されます。シャッターボタンを半押し続けます。
3. 笑顔が検出されると自動的にシャッターが切れます。
笑顔が検出される前にシャッターを切る事もでき、シャッターチャンスを逃しません。
4. 笑顔検出機能を無効にする場合は、再度下／スクリーンボタン を押してください。



◆笑顔には個人差がある為、すべての状況で笑顔検出機能の動作を保証するものではありません。

◆笑顔検出機能は、マクロ(近接)・パノラマ・スポーツ・風景・風景(夜間)・花火・コピー mode では利用できません。



静止画モード

▣ パノラマ撮影

3枚または2枚の写真を撮影し、カメラが自動的に繋ぎ合わせて、綺麗なパノラマ写真にすることができます。

1. モードダイヤルを回してパノラマモード □□ に設定します。
2. 上または下ボタンを押してパノラマ写真の撮影順序「左から右へ」 □→□ または「右から左へ」 □←□ のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

□→□ 左から右へ：最初にパノラマ写真の左1/3を撮影し、次に中1/3を撮影し、最後に右1/3を撮影します。

□←□ 右から左へ：最初にパノラマ写真の右1/3を撮影し、次に中1/3を撮影し、最後に左1/3を撮影します。

3. シャッターボタンを押して、1枚目を撮影します。
4. 1枚目のガイドに合わせながら、シャッターボタンを押して2枚目の写真を撮影します。
撮影を再度やり直す場合は、削除／手ぶれ補正ボタン ▶/◀ を押します。
撮影した2枚をパノラマ写真にする場合は、OKボタンを押します。
5. 2枚目のガイドに合わせながら、シャッターボタンを押して3枚目の写真を撮影します。
撮影後、撮影した3枚の写真が自動的に1枚のパノラマ写真に編集されます。
6. モードダイヤルを回して再生モード ▶▶ に設定し、編集結果を確認します。



◆三脚を使用すると、パノラマ写真の精度が向上します。

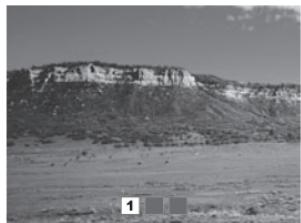
5. 完成したパノラマ写真例



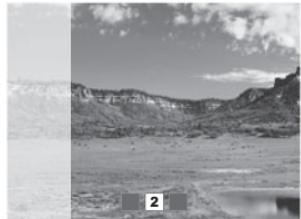
2.



3. 1枚目の撮影画面



4. 2枚目の撮影画面



1枚目のガイド



静止画モード

▶ 静止画に音声メモを付加録音

撮影した静止画に、1分間の音声メモを加えることができます。

A-1. 再生モードに設定し、音声メモを加えたい静止画ファイルを表示します。

A-2. シャッターボタンを長押しし、音声メモの録音を開始します。

録音中、音声メモが付加される静止画 および 音声メモの合計時間が表示されます。

A-3. 度度シャッターボタンを押して、音声メモの録音を終了します。

静止画を撮影し、その場で音声メモを付加することもできます。

B-1. シャッターボタンを押して静止画を撮影し、シャッターボタンをそのまま押し続けます。

B-2. 撮影終了後、しばらくすると音声メモの開始画面が表示されます。音声メモを録音してください。

B-3. シャッターボタンを離すと録音を終了します。



◆音声メモの付加された静止画には ⏴ アイコンが表示されます。

◆初期設定では、音声メモ機能が「オフ」になっています。P.71「音声メモ機能」をご覧の上、「オン」に設定してください。



動画モード

■ 動画の撮影

動画を撮影することができます。

1. モードダイヤルを回して動画モード に設定します。
2. 液晶モニタで被写体を捉え、撮影する構図を決めます。
3. シャッターボタンを押すと、撮影を開始します。動画撮影中は、セルフタイマーLEDが点灯します。
4. 再度シャッターボタンを押すと、撮影を終了します。
5. 撮影した動画ファイルの再生方法は、P.52「動画の再生」をご覧ください。



◆動画撮影中は、光学ズームは使用できません。撮影開始前に構図を決めてください。

◆デジタルズームは、動画撮影中に使用できます。P.65「デジタルズーム」をご覧ください。

■ クイックビュー時のファイル削除について

P.27「クイックビュー時のファイル削除について」をご覧ください。



音声モード

▣ 音声の録音

テープレコーダーのように音声を録音することができます。

1. モードダイヤルを回して音声モード  に設定します。
2. シャッターボタンを押すと、録音を開始します。音声録音中は、液晶モニタにカウンターが表示されます。
3. 再度シャッターボタンを押すと、録音を終了します。録音の終了後、録音開始画面が表示されます。
4. 録音した音声ファイルの再生方法は、P.53「音声ファイルの再生」をご覧ください。



静止画メニュー

▣ 静止画メニュー

静止画モードの基本設定を行います。

1. モードダイヤルを回して、任意の静止画撮影モードに設定します。
2. メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
3. 左または右ボタンを押して選択項目を移動し、OKボタンを押してサブメニューに入ります。

3.



▣ 静止画サイズ(静止画解像度) (初期設定 : 8M)

撮影する静止画サイズを設定します。

1. 上または下ボタンを押して、下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

8M 8M	: 約800万画素
32 7.1M(3:2)	: 約710万画素
5M 5M	: 約500万画素
3M 3M	: 約300万画素
16:9 2.1M (16:9)	: 約210万画素
2M 2M	: 約200万画素
VGA VGA	: 約30万画素



◆画素数が多いほど高画質ですが、データ容量も大きくなります。





静止画メニュー

■ 画質(画像画質) (初期設定: 最高)

撮影する静止画の画質(圧縮率)を設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。



最高



良



普通



◆高画質なほど鮮明な画像となりますが、データ容量も大きくなります。



■ フォーカスゾーン (初期設定: マルチゾーン)

AF(オートフォーカス)のエリアを設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

マルチゾーン : 複数の測定点で測距します。

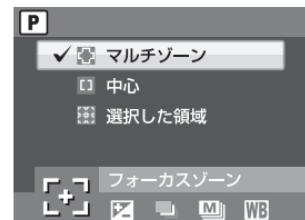
中心 : 中央部で測距します。

選択した領域 : 9分割して任意のゾーンで測距します。AFフレームの選択方法は、下記をご覧ください。

A-1. OKボタンを押します。

A-2. 上／下／左／右ボタンでAFフレームを移動します。

A-3. OKボタンを押して決定します。



選択した領域





静止画メニュー

▣ 露出補正 (初期設定 : 0)

手動で露出値を変更する場合に使用します。被写体の撮影結果が暗く潰れる場合は+(明るく)補正し、明るすぎる場合には-(暗く)補正します。露出値は、-2.0～+2.0(0.3EVステップ)の間で調整することができます。

1. 上または下ボタンを押して補正值を選択し、OKボタンを押して決定します。



▣ AEB

P.32「AEB(オートブラケッティング)撮影」をご覧ください。



静止画メニュー

☒ マルチ連写間隔(Mバーストインターバル) (初期設定：1/30秒)

マルチ連写撮影の連写間隔を設定します。マルチ連写に設定(P.29参照)し、シャッターボタンを押すと、画像サイズVGA(約30万画素)の静止画を、選択した間隔で連続16枚撮影します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

1／30：1／30秒間隔で撮影します。

1／15：1／15秒間隔で撮影します。

1／7.5：1／7.5秒間隔で撮影します。



☒ ホワイトバランス (初期設定：自動)

オートでの色調が思わしくない場合、様々な被写体周辺の状況に応じてホワイトバランスを調整し、肉眼の色調に近づけます。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

自動：自動で調整します。

日光：屋外の晴天時での撮影に適しています。

電球：室内の白熱灯下での撮影に適しています。

蛍光灯：室内の蛍光灯下での撮影に適しています。

曇り：屋外の曇天や木陰での撮影に適しています。





静止画メニュー

ISO感度 (初期設定 : 自動)

撮影時の感度を設定します。感度を上げると暗い場所での撮影も可能になりますが、ノイズが増え、画質が低下します。感度を下げるとき、ノイズが少なくなめらかな画質を得ることができます、光量が多く必要となります。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

自動 : 感度を自動で設定します。

ISO80 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO100 : 屋外の晴天時での撮影に適しています。

ISO200 : 屋外の曇天時での撮影、または明るい屋内での撮影に適しています。

ISO400 : 屋外の曇天時での撮影、光量が少ない屋内での撮影、または動く被写体の撮影に適しています。

ISO800 : 光量が少ない屋内でフラッシュを焚かずに撮影する場合、または動く被写体の撮影に適しています。

ISO1600 : 光量が少ない屋内でフラッシュを焚かずに撮影する場合、

または光量が少ない環境で動く被写体を撮影する場合に適しています。



◆説明は目安です。撮影結果を確認しながら撮影状況に合わせてください。



静止画メニュー

▣ 測光方式 (初期設定 : マトリックス測光)

露出の計測方法を設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。
 - マトリックス測光 : 被写体を16エリアに分割して測光し、最適な露出を算出します。
 - スポット測光 : 被写体の中央部を重点的に測光します。
 - 平均測光 : 被写体を平均的に測光します。



▣ 色効果 (初期設定 : カラー)

効果を加えることで、印象の異なる写真にすることができます。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。
 - 鮮明 : ビビットに色味をはっきりと強調します。
 - カラー : 色効果を加えません。
 - 白黒 : 白黒画像にします。
 - セピア : セピア画像にします。





静止画メニュー

☒ シャープネス(鮮明度) (初期設定: 中)

撮影する静止画の鮮明度を設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

- 高 : シャープな静止画に仕上がります。
- 中 : 効果を加えません。
- 低 : ソフトな静止画に仕上がります。



☒ 彩度 (初期設定: 中)

撮影する静止画の彩度(色の濃さ)を設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

- 高 : 彩度を高めた画像にします。
- 中 : 効果を加えません。
- 低 : 彩度を抑えた画像にします。





静止画メニュー

☒ コントラスト (初期設定: 中)

撮影する静止画のコントラストを設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

Ⓐ 高: コントラストを高めた画像にします。

Ⓑ 中: 効果を加えません。

Ⓒ 低: コントラストを抑えた画像にします。



☒ 設定

P.64「設定メニュー」をご覧ください。



動画メニュー

■ 動画メニュー

動画モードの基本設定を行います。

1. モードダイヤルを回して、動画モードに設定します。
2. メニューボタンを押して、メニュー画面を表示します。
3. 左または右ボタンを押して選択項目を移動し、OKボタンを押してサブメニューに入ります。



■ 動画サイズ(ビデオ解像度) (初期設定 : 640×480)

撮影する動画のサイズを設定します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

640 × 480

320 × 240



◆ サイズが大きいほど高画質ですが、データ容量も大きくなります。





動画メニュー

☒ ホワイトバランス

P.42「ホワイトバランス」をご覧ください。

☒ 色効果

P.44「色効果」をご覧ください。

☒ 彩度

P.45「彩度」をご覧ください。



動画メニュー

☒ コントラスト

P.46「コントラスト」をご覧ください。

☒ 設定

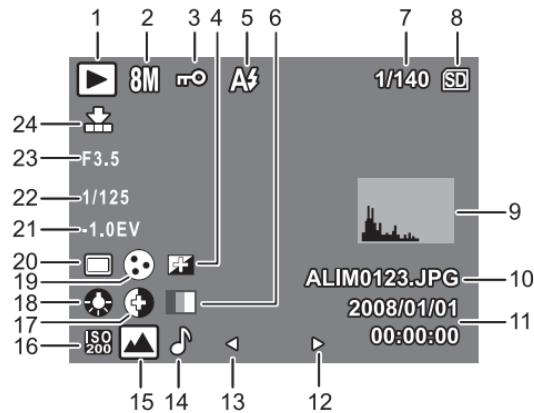
P.64「設定メニュー」をご覧ください。



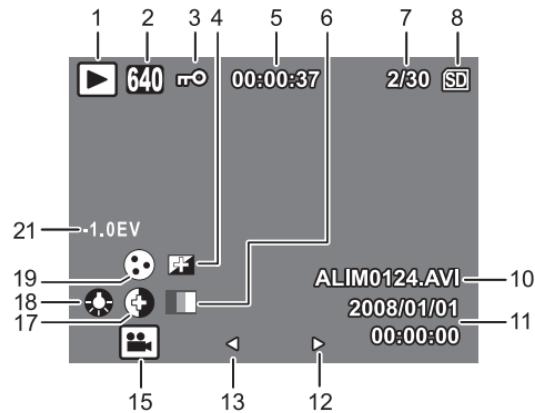
再生モード

再生モードアイコン

〈 静止画再生モード 〉



〈 動画再生モード 〉



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



再生モード

1	再生モードアイコン	
2	サイズ	静止画：8M 32M 5M 3M 2M 16M VGA 動画：640(640×480) 320(320×240)
3	保護	
4	シャープネス	
5	フラッシュモード	静止画モード： 動画モード：00:00:37 (動画ファイルの長さ)
6	カラー効果	
7	ファイル数	1/140, 2/30
8	SDカード／内蔵メモリ	
9	ヒストグラム	
10	ファイル名	静止画モード：ALIMO123.JPG 動画モード：ALIMO124.AVI
11	日付と時刻	2008/01/01 00:00:00
12	次へ	次のファイルへ移動
13	戻る	前のファイルへ戻る
14	音声メモ	
15	モードアイコン	P.24・P.25「液晶モニタアイコン」をご覧ください。
16	ISO 感度	
17	コントラスト	
18	ホワイトバランス	
19	彩度	

20	測光方式	
21	露出補正	-1.0EV
22	シャッター速度	1/125
23	絞り値	F3.6
24	画質	



再生モード

▣ 静止画の再生

静止画ファイルを液晶モニタで再生します。

1. モードダイヤルを回して、再生モード に設定します。
2. 左または右ボタンを押して、静止画ファイルを選択します。



◆マルチ連写の再生では、自動的に16枚が連続して表示されます。

▣ 動画の再生

動画ファイルを液晶モニタで再生します。

1. モードダイヤルを回して、再生モード に設定します。
2. 左または右ボタンを押して、動画ファイルを選択します。
3. OKボタンを押すと、動画ファイルの再生を開始します。
4. 左または右ボタンを押すと、次のファイルまたは前のファイルに移動することができます。
5. OKボタンを押すと、動画ファイルの再生を一時停止することができます。再度、OKボタンを押すと再生を再開します。
6. OKボタンを押し、左または右ボタンで巻き戻し／早送りすることができます。
7. 動画ファイルの再生が終了すると、液晶モニタに動画の最初のシーンが静止して表示されます。





再生モード

▣ 音声ファイルの再生

音声ファイルを再生します。

1. モードダイヤルを回して、再生モード ▶ に設定します。
2. 左または右ボタンを押して、音声ファイルを選択します。
3. OKボタンを押すと、音声ファイルの再生を開始します。
4. 左または右ボタンを押すと、次のファイルまたは前のファイルに移動することができます。
5. OKボタンを押すと、音声ファイルの再生を一時停止することができます。再度、OKボタンを押すと再生を再開します。
6. OKボタンを押し、左または右ボタンで巻き戻し／早送りすることができます。

▣ 音声メモの再生

音声メモは、音声メモ付き静止画ファイルの再生と一緒に、音声も再生されます。

1. OKボタンを押すと、音声メモの再生を停止します。
2. 左または右ボタンを押すと、次または前のファイルへ移動することができます。



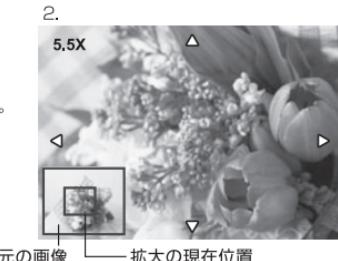


再生モード

再生ズーム

静止画の再生中、画像を拡大表示することができます。

- ズームボタンを右側 [■] にスライドさせるとズームイン(拡大)、左側 [□] にスライドさせるとズームアウト(縮小)します。
- 左／右／上／下ボタンを押して、拡大表示範囲を移動します。
- 静止画を拡大表示の状態でOKボタンを押すと、画像をトリミングすることができます。
トリミングされた画像は別ファイルとして保存されます。



ファイルの削除

内蔵メモリおよびSDメモリカードに保存した不要なファイルを削除します。

- 削除／手ぶれ補正ボタン [△/▽] を押して、削除メニューを表示します。
- 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押し決定します。

キャンセル : 削除しません。

この画像 : 表示中の静止画ファイル・動画ファイル・音声ファイルを削除します。

全ての画像 : 全てのファイルを削除します。



サムネイル表示

9分割のサムネイル表示をします。

- 全画面表示の状態でズームボタンを左側 [□] にスライドさせると、サムネイル表示することができます。



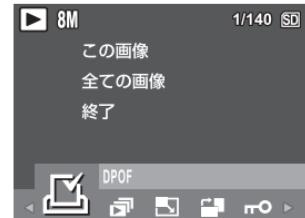


再生メニュー

再生メニュー

再生モードの様々な設定を行います。

1. モードダイヤルを回して、再生モード に設定します。
2. メニューボタンを押して、メニュー項目を表示します。
3. 左または右ボタンを押して項目を移動し、OKボタンを押してサブメニューに入ります。





再生メニュー

DPOF

〈DPOFとは〉

DPOFは、DPOFをサポートするプリンタを使い、SDメモリカードに保存されている静止画を直接プリントアウトしたり、写真店にプリントサービスを依頼する場合に手間を省くことができます。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して「DPOF」を選択し、OKボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

この画像 : 選択したファイルをプリントします。

全ての画像 : 全てのファイルをプリントします。

終了 : メニュー画面に戻ります。

〈「この画像」を選択した場合〉

- A-1. 左または右ボタンを押して、プリントする画像を選択します。
- A-2. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定し、OKボタンを押し決定します。DPOFを指定すると、そのファイルに アイコンが表示されます。DPOF画面に戻ります。
アイコン横の数字は、プリント枚数を表します。0~99まで設定できます。
- A-3. 他の画像もプリント指定する場合は、画像を選択し枚数を指定します。
さらに画像を選択し、枚数を指定してOKボタンを押します。
- A-4. 指定を取り消す場合は、枚数を0枚にします。
- A-5. DPOF画面に戻りましたら「終了」を選択し、OKボタンを押します。

〈「全ての画像」を選択した場合〉

- B-1. 上または下ボタンを押してプリント枚数を指定し、OKボタンを押します。
- B-2. DPOF画面に戻りましたら「終了」を選択し、OKボタンを押します。

3.



A-3/B-1





再生メニュー

▢ スライドショー

メモリに記録されている全ての静止画を一定の間隔で表示します。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して「スライドショー」を選択し、OKボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して「間隔」を選択し、左または右ボタンで設定します。
 - 開始 : スライドショーを開始します。
 - 間隔 : スライドショーの表示間隔を設定します。左または右ボタンを押して、表示間隔を設定してください。
3秒～30秒まで指定できます。(初期設定：5秒)
 - ループ(繰り返し) : スライドショーの方式を設定します。「オン」を選択すると繰り返し再生されます。
「オフ」を選択すると、一順して終了します。(初期設定：オフ)
 - 終了 : スライドショーを表示せずに、メニュー画面に戻ります。
4. 上または下ボタンで「ループ」を選択し、オンまたはオフを設定します。
5. 上または下ボタンで「開始」を選択し、OKボタンを押します。スライドショーを開始します。
6. 動画・音声もすべて再生されます。
7. スライドショーを終了する場合は、OKボタンを押してメニュー画面に戻ります。

3.



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



再生メニュー

▣ サイズの変更

撮影した静止画のサイズを変更します。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して「画像のサイズ変更」を選択し、OKボタンを押します。
3. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

6M : 静止画サイズを6Mに変更します。

4M : 静止画サイズを4Mに変更します。

2M : 静止画サイズを2Mに変更します。

1M : 静止画サイズを1Mに変更します。

VGA : 静止画サイズをVGA(約30万画素)に変更します。

4. 縮小された静止画は、別ファイルとして保存されます。



- ◆ サイズの変更は、縮小のみです。
- ◆ サイズ変更後も、画像の比率(4:3または3:2)は変わりません。
- ◆ 以下のようないふたつの場合、サイズ変更はできません。

- ・ 静止画ファイル以外の場合
- ・ トリミングされたファイルの場合
- ・ SDメモリカードおよび内蔵メモリの空き容量が少ない場合
- ・ SDメモリカードがロックされている場合
- ・ 静止画サイズがVGAで撮影された場合

- ◆ VGAサイズはe-mail等の添付に最適です。

3.



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



再生メニュー

▣ 静止画の回転

静止画の向きを変更します。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して「画像の回転」を選択します。
3. OKボタンを押して編集モードに入ります。
4. 左または右ボタンで静止画の向きを変更します。
5. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

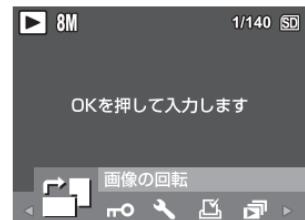
OK : 回転した静止画を保存します。

■(終了) : 回転した静止画を保存しません。

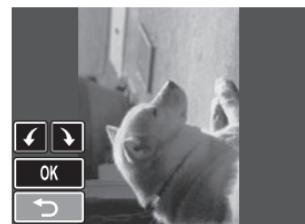


◆回転したファイルは上書きされますのでご注意ください。

3.



4.



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



再生メニュー

保護

撮影した静止画および動画の誤消去を防ぐために保護します。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して、「保護」を選択し、OKボタンを押します。
3. 左または右ボタンで保護するファイルを選択します。
4. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

: 保護を設定します。

終了 : メニュー画面に戻ります。

5. 他のファイルも保護する場合、左または右ボタンを押してファイルを選択し、OKボタンを押します。
6. 保護されたファイルには保護アイコン が表示されます。
7. 保護を解除する場合は、保護されたファイルを選択し、再度保護すると解除されます。
8. 終了する場合は、上または下ボタンで「終了」を選択し、OKボタンを押します。

メニュー画面に戻ります。

4.



5.



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



再生メニュー

▣ 赤目修正

撮影した静止画の赤目を軽減することができます。

1. 左または右ボタンを押して赤目修正する画像を選択します。
2. メニューボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「赤目修正」を選択し、OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンで「はい」または「いいえ」を選択し、OKボタンを押します。

はい：赤目修正を行います。

いいえ：赤目修正を行いません。

5. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押し決定します。

新しいファイル：修正画像を新しいファイルとして保存します。

上書き：修正画像を元のファイルに上書きして保存します。

終了：メニュー画面に戻ります。



◆フラッシュ撮影された、静止画再生時にこの機能は表示使用できます。

◆ファイルに保護が設定されている場合、自動的に新しいファイルとして保存されます。

◆修正が困難な場合、液晶モニタに「正しく処理できません」というエラーメッセージが表示されます。

4.



5.





再生メニュー

▣ カードへ移動(画像を移動)

内蔵メモリに保存されたファイルをSDメモリカードに移動することができます。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押します。
3. 左または右ボタンを押して「画像の保存」を選択し、OKボタンを押します。
4. 上または下ボタンを押して「内部メモリ」を選択し、OKボタンを押します。
5. メニューボタンを押します。
6. 左または右ボタンを押して「画像の移動」を選択し、OKボタンを押します。
7. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

この画像 : 選択したファイルをSDメモリカードに移動します。

全ての画像 : 全てのファイルをSDメモリカードに移動します。

終了 : ファイルを移動しません。メニュー画面に戻ります。

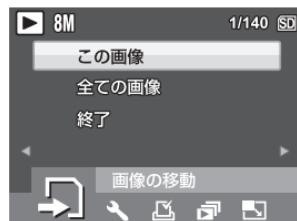
〈この画像を選択した場合〉

- A-1. 左または右ボタンで移動するファイルを選択します。
- A-2. 「この画像」を選択し、OKボタンを押し決定します。ファイルが移動します。
- A-3. 移動を確認するには、左または右ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押します。
- A-4. 左または右ボタンを押して「画像の保存」を選択し、OKボタンを押します。
- A-5. 上または下ボタンを押して「自動」を選択し、OKボタンを押して決定します。
- A-6. SDメモリカードに保存されたファイルを再生します。

〈全ての画像を選択した場合〉

- B-1. 「全ての画像」を選択し、OKボタンを押して決定します。
全てのファイルが移動します。
- B-2. 移動を確認するには、左または右ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押します。
- B-3. 左または右ボタンを押して「画像の保存」を選択し、OKボタンを押します。
- B-4. 上または下ボタンを押して「自動」を選択し、OKボタンを押して決定します。
- B-5. SDメモリカードに保存されたファイルを再生します。

7.



※設定により、表示されるアイコンは異なります。



◆この機能は、ファイルの保存場所が内蔵メモリ設定 および
カメラにSDメモリカードが挿入されている場合に限り利用
することができます。

◆動画・音声も移動できます。



再生メニュー

■ 動画ファイルの短縮(分割)

動画ファイルの不要な部分を切ることができます。メモリ残量が少ない場合、または動画ファイルの編集を行いたい場合に便利です。

1. メニューボタンを押します。
2. 左または右ボタンを押して、「分割」を選択します。
3. OKボタンを押して編集モードに入ります。
4. 上または下ボタンを押して を選択し、OKボタンを押します。

- : 新しい動画ファイルの最初の部分
- : 新しい動画ファイルの終わりの部分
- : 切り取りを行った動画ファイルを表示します。
- : 切り取りを行った動画ファイルを、新しいファイルまたは上書きで保存します。「終了」を選択すると、変更を破棄します。
- : メニュー画面に戻ります。

5. 左または右ボタンを押し続けて、新しい動画ファイルの始めの位置でボタンを離してください。
6. 上または下ボタンで を選択します。
7. 左または右ボタンを押し続けて、終わりの位置でボタンを離してください。
8. 上または下ボタンを押して を選択し、OKボタンを押します。
9. 編集された動画を再生します。
10. 上または下ボタンを押して または を選択し、再編集することができます。
11. 上または下ボタンを押して を選択し、OKボタンを押します。
12. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します

新規ファイル：編集した動画ファイルを別ファイルとして保存します。

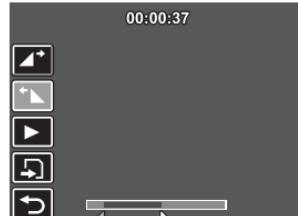
上書き：編集した動画ファイルは元のファイルに上書きします。
(編集前のファイルが無くなります)

終了：
: 編集をせずにメニュー画面に戻ります。
 を選択しても同様にメニュー画面に戻ります。

3.



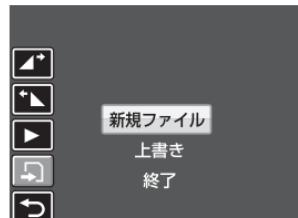
7.



11.



12.



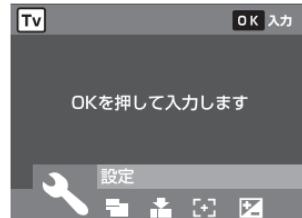


設定メニュー

□ 設定メニュー

カメラの様々な設定を行います。

- 撮影モードからカメラの設定をします。
- メニューボタンを押します。
- 右または左ボタンを押して「設定」を選択し、OKボタンを押して設定メニューを表示します。
- 左または右ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押してサブメニューに入ります。



□ 液晶輝度(LED輝度) (初期設定: 0)

液晶モニタの明るさを設定します。

ー側に設定すると暗く、+側に設定すると明るくなります。

- 左または右ボタンを押して、輝度を調整してください。
- OKボタンを押し決定します。



◆明るめに(+側に)設定すると屋外でも見やすくなりますが、電池の消耗が早くなります。



□ ファイル番号 (初期設定: 続行)

ファイル番号の割り当て方法を設定します。

- 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

リセット：ファイル番号を0001から始めます。

続行：ファイル番号を連続します。



◆パソコン等に保存する場合、同じファイル番号がありますと、上書きされますのでご注意ください。





設定メニュー

☒ デジタルズーム (初期設定 : オフ)

デジタルズーム機能のオン／オフを切り替えます。

1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オン : デジタルズーム機能を有効にします。

オフ : デジタルズーム機能を無効にします。



◆デジタルズームの使用方法については、P.28「ズーム撮影」をご覧ください。



☒ クイックビュー (初期設定 : オン)

静止画の撮影直後、撮影した静止画を液晶モニタに表示します。

撮影結果を確認し、不要なファイルは ボタンを押して削除することができます。

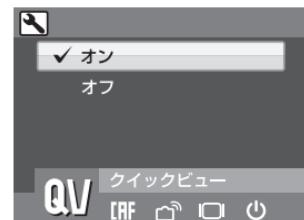
1. 上または下ボタンを押して下記のいずれかを選択し、OKボタンを押して決定します。

オン : 静止画の撮影直後、撮影した静止画を液晶モニタに表示します。

オフ : クイックビュー機能を使用しません。



◆クイックビュー機能は、連写モード および マルチ連写モードでは利用できません。





設定メニュー

▣ 連続AF (初期設定：オフ)

ピントの位置を固定せず、常にピントを合わせ続けます。動いているものを撮影する場合に便利です。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

オン：連続AF機能を有効にします。

オフ：連続AF機能を無効にします。



◆早い動きには追従しない場合があります。



▣ カメラサウンド

カメラの操作音の音量、種類を変更します。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

音量 : オフ・低・中・高 (初期設定：中)

起動音 (スタートアップ) : サウンド1・サウンド2・サウンド3 (初期設定：サウンド1)

シャッター : サウンド1・サウンド2・サウンド3 (初期設定：サウンド1)

終了 : 変更を行わず、メニュー画面に戻ります。





設定メニュー

☒ 自動LCD(液晶)オフ (初期設定 : 5分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のため液晶モニタが自動的にオフになります。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。
2. 液晶が自動的にオフになった場合、いずれかのボタンを押すと再表示します。

オフ : 自動液晶オフを無効にします。

30秒 : 30秒間操作しないと、液晶モニタが自動的にオフになるように設定します。

1分 : 1分間操作しないと、液晶モニタが自動的にオフになるように設定します。



☒ 自動電源オフ (初期設定 : 5分)

カメラを操作しない時間が一定以上続くと、電力節約のためカメラの電源が自動的にオフになります。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。
- 5分 : 5分間操作しないと、電源が自動的にオフになるように設定します。
- 2分 : 2分間操作しないと、電源が自動的にオフになるように設定します。





設定メニュー

☒ テレビ出力(ビデオアウト) (初期設定 : NTSC)

ビデオ出力信号をご使用の国・地域に合わせて切り替えます。

1. 上または下ボタンを押し、下記項目から選択してください。

NTSC : 日本・米国・カナダ・台湾

PAL :ヨーロッパとアジア(日本・台湾を除く)



◆NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れたり、白黒になったりします。

◆再生時のテレビ出力方法を選択します。撮影時の国・地域ではありません。



☒ USBモード (初期設定 : MSDC)

カメラのUSB接続方法を選択します。

1. 上または下ボタンを押し、下記項目から選択してください。

PTP (プリンタとの接続)

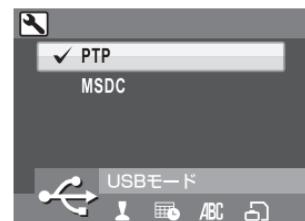
: カメラをPictBridge対応のUSB-PC／AV接続ケーブルでプリンタに接続すると、

SDメモリカードに保存した画像をダイレクトプリントすることができます。

PTP機能については、P.72「PictBridgeプリント」をご覧ください。

MSDC (パソコンとの接続)

: カメラとパソコンとの間でファイルの転送を可能にします。





設定メニュー

☒ 日付プリント(日付印) (初期設定 : オフ)

静止画撮影時の日付を設定します。

設定した日付は、プリント時に印刷されます。

1. 上または下ボタンを押し、下記項目から選択してください。

オフ : 日付を印字しません。

YYYY MM DD : 年／月／日 の順で印字します。

MM DD YYYY : 月／日／年 の順で印字します。

DD MM YYYY : 日／月／年 の順で印字します。



☒ 日付と時刻の設定

P.19「日付と時刻の設定」をご覧ください。

☒ 言語の設定

P.19「言語の設定」をご覧ください。



設定メニュー

☒ ファイルの保存場所(画像の保存) (初期設定:自動)

ファイルの保存場所を設定します。通常は内蔵メモリ(32MB)に保存されますが、SD／SDHCメモリカードも使用できます。(詳しくはP.15「SD／SDHCメモリカードを装着する」をご覧ください)

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

自動 : カメラが保存先を自動的に選択します。SDメモリカードをカメラに装着している場合は、すべてカードに保存されます。

内蔵メモリ : 内蔵メモリに保存します。



◆SD／SDHCメモリカードのご使用をおすすめいたします。



☒ フォーマット

P.17「SDメモリカードのフォーマット」をご覧ください。

☒ リセット

カメラの設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. 「リセット」を選択し、OKボタンを押すと「カメラの初期設定をリセットしますか?」が表示されます。

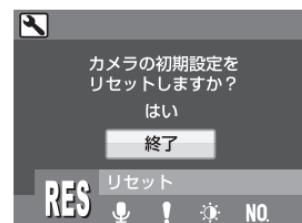
2. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

はい : 初期設定(工場出荷時の設定)に戻します。

いいえ : メニュー画面に戻ります。



◆日付と時刻・言語・テレビ出力はリセットされません。





設定メニュー

■ 音声メモ機能 (初期設定: オフ)

音声メモ機能のオン／オフを切り替えます。

オンに設定すると、静止画の撮影直後または静止画の再生時に音声メモを録音することができます。

音声メモ機能については、P.36「静止画に音声メモを付加録音」をご覧ください。

1. 上または下ボタンを押して下記項目から選択し、OKボタンを押して決定します。

オン：音声メモ機能を有効にします。

オフ：音声メモ機能を無効にします。



■ バージョン情報

カメラの情報を表示します。



プリンタとの接続

□ PictBridge プリント (ダイレクトプリント)

パソコンを経由せずに、撮影した静止画をプリントすることができます。カメラがダイレクトプリント(PictBridge)対応プリンタに接続されていない場合、液晶モニタにエラーメッセージが表示されます。ダイレクトプリント(PictBridge)機能を使用する場合は、P.68「USBモード」をご覧ください。カメラをダイレクトプリント対応プリンタと接続すると、液晶モニタに「プリンタを接続しています」というメッセージが表示されます。USBモードが「PTP」に設定されないと、液晶モニタにエラーメッセージが表示されます。

1. カメラとプリンタの電源を入れます。
2. カメラをダイレクトプリント(PictBridge)対応プリンタと付属USB-PC／TV接続ケーブルで接続すると、液晶モニタに「プリンタを接続しています」というメッセージが表示され、プリント画面が自動的に表示されます。
3. 左または右ボタンを押して項目を選択し、OKボタンを押します。



□ 画像の保存場所 (初期設定：自動)

1. 左または右ボタンを押して下記項目を選択し、OKボタンを押して決定します。

自動 : SDカード(未装着時は内蔵メモリ)の画像

内部メモリ : 内蔵メモリの画像

詳しくは、P.70「ファイルの保存場所」をご覧ください。





プリンタとの接続

④ 画像を選択(この画像)

選択した画像(液晶モニタに表示された)をプリントします。

1. 左または右ボタンを押して「この画像」を選択し、OKボタンを押します。
2. 左または右ボタンでプリントする画像を選択します。
3. 上または下ボタンでプリント枚数を設定し、OKボタンを押します。
0~99枚まで設定できます。
4. 「用紙サイズ」を設定します。上または下ボタンを押して、用紙サイズ「初期設定の用紙サイズ」、「4"X6"」、「A4」を選択し、OKボタンを押します。

初期設定の用紙サイズ：プリンタに設定された用紙サイズ

4×6インチ : 4"X6"サイズ

A4サイズ : A4サイズ

5. プリントの確認画面が表示されます。上または下ボタンを押して「続行」、「キャンセル」を選択し、OKボタンを押します。
続行 : プリントします。
キャンセル : プリントしません。
6. プリントが開始されます。
7. プリント完了(印刷完了)の表示が出ましたら、OKボタンを押します。
8. 他の画像もプリントする場合は、2.からの操作を繰り返します。
9. プリントを終了する場合は、カメラの電源を切り、付属のUSB-PC／TV接続ケーブルを外します。

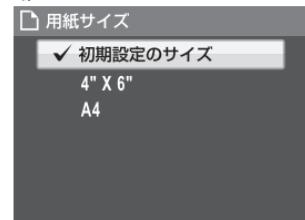


◆お使いのプリンタにより表示、設定は異なります。プリンタの取扱説明書をご覧ください。

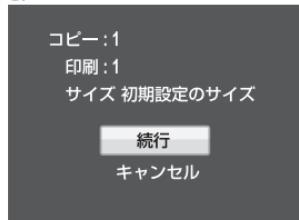
3.



4.



5.



7.





プリンタとの接続

□ インデックスプリント(索引プリント)

ファイルをインデックスを印刷します。

- 左または右ボタンを押して「索引プリント」を選択し、OKボタンを押します。
- 「用紙サイズ」が表示されます。上または下ボタンを押して用紙サイズを選択し、OKボタンを押します。用紙は以下の中から選択できます。

初期設定のサイズ：プリンタに設定された用紙サイズ

A4 : A4サイズ

- 上または下ボタンで「続行」、「キャンセル」のいずれかを選択し、OKボタンを押します。

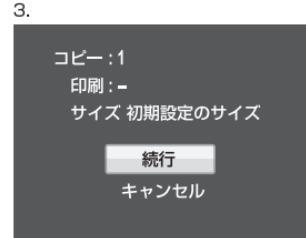
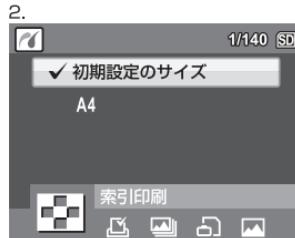
続行 : インデックスプリントをします。

キャンセル : プリントしません。

- インデックスプリントを開始します。



◆お使いのプリンタにより表示、設定は異なります。
プリンタの取扱説明書をご覧ください。





プリンタとの接続

DPOF

DPOF設定されたファイルをプリントします。

- 左または右ボタンを押して「DPOF画像」を選択し、OKボタンを押します。
- 「用紙サイズ」が表示されます。上または下ボタンを押して用紙サイズを選択し、OKボタンを押します。

初期設定のサイズ：プリンタに設定された用紙サイズ

4"X6" : 4"X6"サイズ

A4 : A4サイズ

- 上または下ボタンで「続行」、「キャンセル」を選択し、OKボタンを押して決定します。

続行 : DPOFプリントをします。

キャンセル : プリントしません。

- DPOFプリントを開始します。



◆DPOF設定は、P.56「DPOF」をご覧ください。





プリンタとの接続

④ 全ての画像

全ての画像をプリントします。

- 左または右ボタンで「全ての画像」を選択し、OKボタンを押します。
- 上または下ボタンを押してプリント枚数(コピー数)を選択し、OKボタンを押します。
- 「用紙サイズ」が表示されます。いずれかを選択し、OKボタンを押します。
初期設定のサイズ：プリンタに設定された用紙サイズ。
 - 4"×6" : 4"×6"サイズ
 - A4 : A4サイズ
- 上または下ボタンを押して「実行」または「キャンセル」を選択し、OKボタンを押して決定します。
 - 続行 : すべての画像をプリントします。
 - キャンセル : プリントしません。
- プリントを開始します。



- ◆お使いのプリンタにより表示、設定は異なります。プリンタの取扱説明書をご覧ください。
- ◆プリントが終了しましたら、カメラの電源をオフにし、付属のUSB-PC／TV接続ケーブルを離します。





テレビとの接続

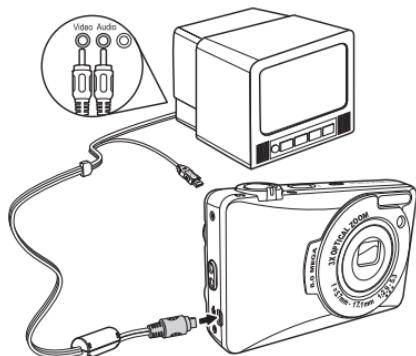
■ テレビ画面での再生

付属の USB-PC / TV 接続ケーブルでテレビに接続すると、カメラで撮影したファイルをテレビで再生することができます。

1. カメラとテレビの電源を入れ、テレビ出力がテレビと同じであるか確認します。
詳しくは、P.68「テレビ出力」を参照してください。
2. 付属の USB-PC / TV 接続ケーブルの片方の端子をカメラの USB 接続端子に接続し、もう片方の端子のうち、黄色の端子をテレビの映像入力端子に、白色の端子をテレビの音声入力端子に接続します。テレビの入力をビデオ入力に切り替えてください。
3. カメラの液晶モニタが自動的にオフになり、静止画および動画ファイルをテレビ画面に表示します。
操作方法はカメラと同様です。P.52「静止画の再生」および P.52「動画の再生」の手順に従ってください。
4. 終了する時はカメラの電源をオフにして、付属の USB-PC / TV 接続ケーブルを離します。



- ◆入力端子の場所は、お使いのテレビの取扱説明書をご覧ください。
- ◆NTSC(日本国内)のテレビに「PAL」出力した場合、テレビ画面がバラバラ流れたり、白黒画像になります。





パソコンとの接続

パソコンとの接続

カメラとパソコンを接続し、ファイルをパソコンに取り込みます。

カメラのUSBモードを「MSDC」に設定しておく必要があります。詳しくはP.68「USBモード」をご覧ください。

また、カメラとパソコンを接続する前に、必ずドライバをインストールしてください。

1. 付属のCD-ROMからドライバをインストールします。

P.79「付属ソフトのインストール」をご覧ください。

2. カメラとパソコンの電源を入れて、付属のUSB-PC／TV接続ケーブルを使用して、カメラとパソコンを接続します。

初めてパソコンにカメラを接続すると「新しいハードウェアが見つかりました」と表示され、

しばらくすると「新しいハードウェアがインストールされ、使用準備が出来ました」と小さく表示されます。

3. カメラの内蔵メモリとSDメモリカードのファイルが、リムーバブルディスクとして表示されます。

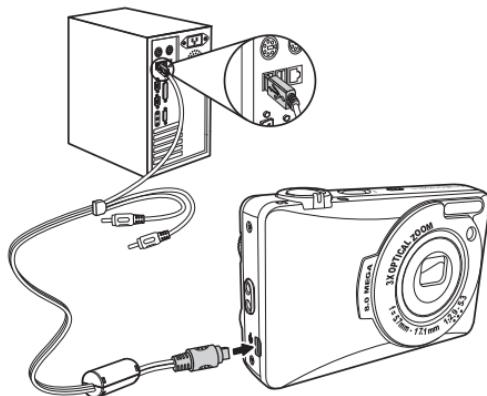
4. ファイルは「スタート」→「マイコンピュータ」→「リムーバブルディスク」→「DCIM」→「100AL831」にあります。

5. 終了する時は、各OSに適した方法で安全に付属のUSB-PC／TV接続ケーブルを離してください。



◆お使いのパソコンのOSがWindows 2000(SP4)／XP(SP2)／Vista(32bit)の場合、ドライバのインストールの必要はありません。

◆お使いのパソコンのOSにより表示は異なります。





付属アプリケーション

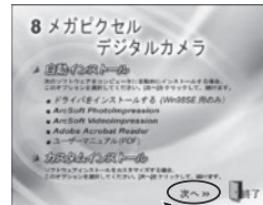
付属ソフトのインストール

1. 付属のCD-ROMをパソコンに入れると自動的にインストール画面が表示されます。
表示されない場合は、「デスクトップ」→「マイコンピュータ」→「CD-ROM ドライブ」を開いて「Setup」をダブルクリックしてください。
2. 「自動インストール」または「カスタムインストール」をクリックしてから「次へ」をクリックします。
3. 例として「カスタムインストール」をクリックして「Adobe Acrobat Reader」をクリックします。
4. 「次へ」をクリックします。
5. 「Welcome to the setup Wizard for Adobe Reader 6.0.1」が表示されます。
「Next」をクリックしてください。
6. 「Destination Folder」が表示されます。
インストール先を指定して「Next」をクリックします。
7. 「Ready to Install the Program」が表示されます。
「Install」をクリックしてください。
8. 「Setup Wizard Complete!」が表示されます。
「Finish」をクリックしてください。
9. デスクトップに「Adobe Reader 6.0」のアイコンが表示されます。
ユーザーマニュアル(PDF)英文取扱説明書を読む事ができます。
10. 「Adobe Acrobat Reader」のインストールを参考に他のソフトも必要に応じてインストールしてください。
11. 必要に応じてパソコンを再起動してソフトウェアを有効にしてください。

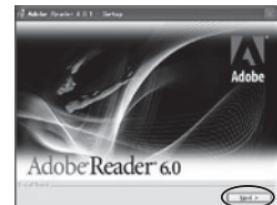


◆インストールの簡単な「自動インストール」をおすすめします。

2.



3.



5.



6.



7.



8.





付属アプリケーション

☒ Photo Impression

静止画の再生、簡単な補正をするアプリケーションです。
使用方法は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

☒ Video Impression

動画の再生、簡単な編集をするアプリケーションです。
使用方法は、アプリケーションのヘルプをご覧ください。

☒ ユーザーマニュアル(PDF)

DSC830P の英語版取扱説明書です。
翻訳の都合上、多く表現・説明範囲の異なる部分がございます。
あらかじめご了承ください。

☒ Adobe Acrobat Reader

ユーザー マニュアル (PDF) を読むソフトウェアです。
必要に応じてアップデートしてください。



トラブルシューティング

症状	対策
カメラの電源が入らない。	電池残量を確認してください。電池残量が少ない場合、再充電してください。(P.12「充電池の装着」をご覧ください) 電池の向きが正しく挿入されているかどうか確認してください。(P.12「充電池の装着」をご覧ください)
カメラの電源が自動的に切れる。	電源ボタンを押してカメラの電源を入れてください。(P.67「自動電源オフ」をご覧ください)
液晶モニタが自動的にオフになる。	電源ボタンを押して液晶モニタの電源を入れてください。(P.67「自動液晶オフ」をご覧ください)
カメラの電源を入れると、電池切れのアイコンが液晶モニタに表示される。	電池残量がありません。再充電してください。 (P.12「充電池の装着」をご覧ください)
「カード残量がありません」というメッセージが液晶モニタに表示される。	SDメモリカードの容量が一杯です。新しいカードに交換するか、不要なファイルを削除してください。 (P.54「ファイルの削除」をご覧ください)
「カードがロックされています」というメッセージが液晶モニタに表示される。	カードが保護されています。SDメモリカードのライトプロテクトスイッチのロックを解除してください。 (P.16「SDメモリカードを使用する前に」をご覧ください)
「メモリ残量がありません」と表示される。	内蔵メモリ内の不要なファイルを削除してください。(P.54「ファイルの削除」をご覧ください)
テレビ画面に画像が表示されない。	テレビとの接続方法、設定及びテレビ出力を確認してください。(P.77「テレビ画面での再生」をご覧ください)



記録可能枚数／時間の目安

▶ 静止画の記録可能枚数

静止画サイズ	画質	内蔵メモリ
8M (約800万画素)	▲ 最高	12
	▲ 良	21
	▲ 普通	30
5M (約500万画素)	▲ 最高	19
	▲ 良	34
	▲ 普通	38
VGA (約30万画素)	▲ 最高	106
	▲ 良	131
	▲ 普通	141

▶ 動画の記録可能時間

動画サイズ	内蔵メモリ
640 × 480	28秒
320 × 240	3分08秒



◆撮影の状況・被写体によって記録されるファイルサイズが一定ではないため、記録可能枚数／時間に差が出ます。上記表は目安としてご参考ください。



仕様

■ 製品仕様

画素数	8.0メガピクセル
イメージセンサー	1/2.5型 CCD
レンズ	f=5.7~17.1mm F2.9/5.3
光学ズーム	最大3倍
デジタルズーム	最大5倍
35mmフィルム換算	34~102mm相当
撮影距離	標準：約0.5m~∞(Wide)、約0.8m~∞(Tele) マクロ：約10cm~50cm(Wide)
シャッタースピード	2~1/2000秒
ISO感度	自動、80、100、200、400、800、1600
内蔵メモリ	32MBフラッシュメモリ
外部メモリ	SDメモリカード(2GBまで)/SDHCメモリカード(16GBまで)

フラッシュモード	自動、強制発光、赤目軽減、発光禁止
ファイル形式	静止画：JPEG、動画：MJPEG(AVI)
画像サイズ	静止画：8M、7.1M(3:2)、5M、3M、2.1M(16:9)、2M、VGA 動画：640×480(30fps)、320×240(30fps)
画質	最高、良、普通
露出補正	+2.0EV~-2.0EV(0.3EVステップ)
TV出力	PAL、NTSC
電池	リチウムイオン充電池 F-#1011
動作温度	0°C~40°C
寸法(幅×高×奥行)	約92×57×19.9mm
重量	約120g(付属品、電池を除く)



仕様

▣ 必要システム

以下の条件を満たすパソコンが必要となります。

- 下記OSがプリインストールされたパソコン
- USBインターフェース(2.0以上)を標準装備したパソコン

Windows対応OS	
※ ※ Windows 98 / 98SE / 2000(SP4) / XP(SP2) / Vista(32bit)	
CPU	Pentium III 以上
メモリ	128MB以上
ハードディスク	40MB以上の空き容量
ドライブ	CD-ROM必須
インターフェース	インターフェース USB 2.0

動作保証について

- 動作環境を満たすPC中でも、一部機種の設定、構成により正常に動作しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- Windows 95/3.1、Windows NTでは動作いたしません。
- ※Windows98／98SEでは動作いたしますがサポート対象外です。動作が不安定な場合は、SDメモリカードリーダーライターを使用して読み書きしてください。
- USBハブや拡張USBボードに接続した状態での使用、自作機および改造を加えたパソコンについては動作保証致しません。
- 各OSからアップグレードしたパソコンでは動作保証致しません。